

製品名: GNAS マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81467**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45.7kDa

抗原情報

遺伝子名	GNAS
別名	AHO; GSA; GSP; POH; GPSA; NESP; GNAS1; PHP1A; PHP1B; PHP1C; C20orf45
遺伝子 ID	2778.0
SwissProt ID	P63092
免疫原	大腸菌で発現したヒト GNAS (AA: 42-188) の精製された組み換え断片。

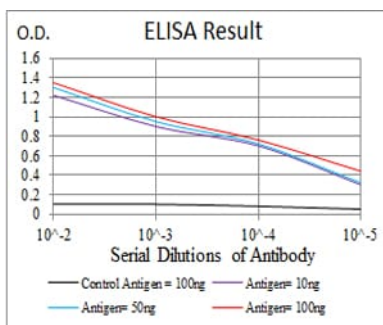
背景

この遺伝子座は、非常に複雑なインプリンティング発現パターンを示す。この遺伝子座は、4つの選択的プロモーターと5'エクソンに由来する、母性、父性、および両対立遺伝子発現の転写産物を生成する。一部の転写産物は5'エクソンに差次的メチル化領域

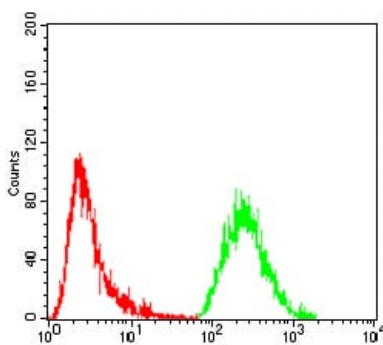
(DMR) を含み、この DMR はインプリンティング遺伝子によく見られ、転写産物発現と相関する。アンチセンス転写産物は、反対鎖上の重複遺伝子座から生成される。この遺伝子座から生成される転写産物の 1 つとアンチセンス転写産物は、父性発現の非コード RNA であり、この領域におけるインプリンティングを制御している可能性がある。さらに、転写産物の 1 つには、構造的に無関係なタンパク質 Alex をコードする、重複する 2 つ目の ORF が含まれる。下流エクソンの選択的スプライシングも観察されており、その結果、刺激性 G タンパク質 α サブユニットの異なる形態が発現する。このサブユニットは、受容体-リガンド相互作用とアデニル酸シクラーゼの活性化、そして様々な細胞応答を結びつける古典的なシグナル伝達経路の重要な要素である。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。この遺伝子の変異は、偽性副甲状腺機能低下症 1a 型、偽性副甲状腺機能低下症 1b 型、オルブライト遺伝性骨異栄養症、偽性偽性副甲状腺機能低下症、マッキューン・オルブライト症候群、進行性骨異形成症、多骨性線維性骨異形成症、および一部の下垂体腫瘍を引き起こす。[RefSeq 提供、2012 年 8 月]

研究分野

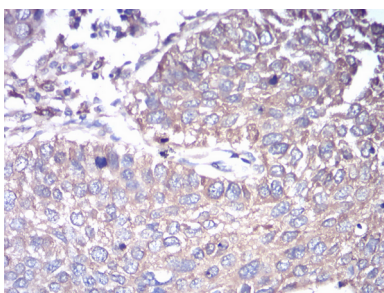
画像データ



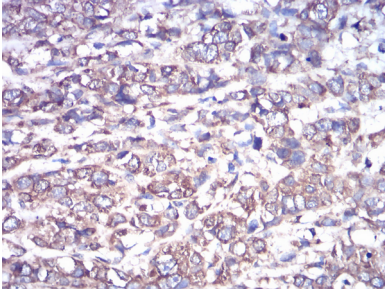
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



GNAS マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



GNAS マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



GNAS マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。